

1 平成16年度 中高連携英語力向上プロジェクト 研究推進構想

美濃 地区

研究協力校： 関市立旭ヶ丘 中学校 岐阜県立関 高等学校

これまでの取組と生徒の実態

中学校

- ・コミュニケーションを図る活動を行う中で、正確さを求める指導を工夫してきた。基礎的・基本的な内容の定着を図る個に応じたきめ細かな指導の充実が必要である。

高等学校

- ・コミュニケーションを図る活動に積極的に参加する態度の育成を心がけ、ペアワーク等を行ってきた。自分の意思を英語で表現する能力を高める指導の充実が必要である。

プロジェクトを通して付けたい力、大切にしていくこと、明らかにしたいこと

◎ 4 領域を関連させた指導の在り方

- ・教科書題材を生かしたコミュニケーションを図る活動の充実（話す活動へ）
- ・話す活動における正確さ、適切さを求めるフィードバックの在り方

平成16年度の具体的取り組み内容

中学校

研究テーマ

かかわり合い、相互理解を深めるコミュニケーション活動の在り方

- ねらいの明確化とねらいに迫るための効果的な指導計画の工夫・改善
 - ・単位時間の役割の明確化
- 基礎的・基本的な内容の定着を図るための個に応じた指導・評価
- 学習環境の充実
 - ・コミュニケーションを図る活動を豊かに行う学習集団の育成
 - ・提示資料、学習プリントの工夫

高等学校

研究テーマ

生徒の実践的コミュニケーション能力の育成

- 単元の指導目標の明確化・重点化
 - ・単位時間の役割を明確にした単元構想の作成
- 各単位時間におけるコミュニケーションを図る活動の設定と指導・評価
- コミュニケーションを図る活動を円滑にする環境の充実
 - ・学習集団の育成、積極的英語使用